

公共施設を「マネジメント」する！

経営企画室 ☎443-9007

⑦今も将来においても適切な行政サービスを維持するために

今後の公共施設の方向性について「市の考え方」をまとめました。説明会、意見交換会を開催しますので、ご意見をお聞かせください。

全体説明会【にこにこポイント対象】

今後の公共施設についての講演の後、行政がたたき台として作成した「市の考え方」への総論的な意見を伺います。

とき 11月11日(日) 14時～

ところ 市役所南庁舎5階

第1部 (14時～15時30分)

◇基調講演

「これからの公共施設の老朽化と再配置」

講師 南学氏 (東洋大学客員教授)

◇「市の考え方」の説明

◇質疑、意見交換

第2部 (15時30分～17時)

◇意見交換

「向島公園周辺地域の活用について」

講師 市川博之氏

(総務省地域情報化アドバイザー)

地区別意見交換会【にこにこポイント対象】

行政がたたき台として作成した「市の考え方」について意見を伺います。

また、公民館を「地域交流センター(仮称)」へ移行する案の説明も行います。

とき	ところ
11月12日(月)	阿弥陀公民館
11月16日(金)	中筋公民館
11月19日(月)	曾根公民館
11月21日(水)	米田公民館
11月22日(木)	北浜公民館
11月26日(月)	荒井公民館
11月28日(水)	中央公民館兼伊保公民館
11月30日(金)	高砂公民館

※ いずれも18時30分～

今後は、市民や施設利用者の皆さんの意見や、来年度までに策定する施設保全計画(施設の劣化診断、長寿命化の判定など)を踏まえながら、2036年までの「施設の方向性」と具体的な取組手法を掲げた「(仮称)公共施設最適化計画」を2020年までに策定し、計画的に進めることを予定しています。

公民館などを活用した地域交流センター(仮称)の設置を検討しています

地域交流センター(仮称)基本コンセプト(案)

「集い」
コミュニティや地域づくり活動の拠点

「協働のまち～たかさご～」の実現

- ・地域コミュニティの醸成
- ・地域づくり活動の促進
- ・生涯学習との連携の推進

「憩い」
地域交流の拠点

「学び」
サークル活動・生涯学習の拠点

「つながり」
情報の集積・発信の拠点

「安心」
地域防災活動の拠点

地域の自主的なまちづくりを支援する機能を有し、地域の課題に取り組むための拠点に

市民みんなで公共施設をマネジメントしよう

公共施設の見直しは全国的な課題

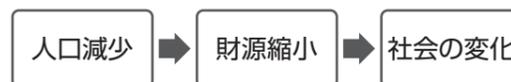
- インフラ・公共施設の老朽化、一斉更新(建て替え・改修)問題
- 人口減少、少子高齢化の進行
- 社会保障関係費、国債費の増大に伴う財政状況の深刻化

公共施設などへの対策の先送り
⇒老朽化の進行により危険度が増大
所有するすべての施設の建て替え
⇒借金が増え、次世代の負担が増大

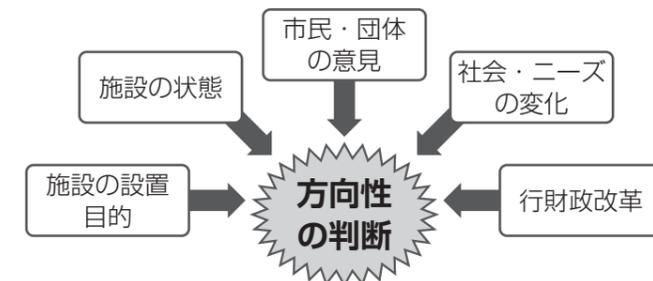
インフラ・公共施設のあり方を見直し、必要な公共サービスを持続的に提供する。

皆さんの意見を踏まえ、方向性を判断

高齢者が増え、子ども・若者が減る…

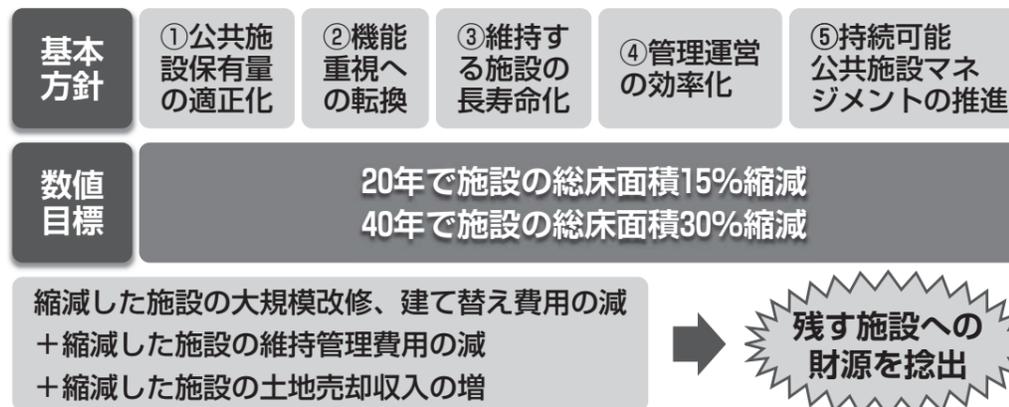


これからの未来を踏まえながら「公共施設をどうするか」考える



公共施設等総合管理計画

全国の自治体が、地域の特性に応じて2016年度までに策定



市の考え方

施設の最適化検討にあたっての市の考える方向性 (2018年3月現在)

施設を減らすことが目的ではなく、より効果的に施設を活用したい。
⇒行政サービス(機能)の維持を前提

2015年度総床面積
297,488.00㎡

2036年度総床面積
236,682.90㎡

2036年までに公共施設の総床面積を20.44%縮減

類型	施設名称	短期	中期	長期	施設の方向性
こども園などの子育て関連施設	高砂・中筋・阿弥陀・北浜こども園	維持	維持	維持・民間移管	<ul style="list-style-type: none"> 伊保幼稚園と梅井保育園は一体化し、2019年度認定こども園として開園する。 曾根と米田のこども園化は、2020年度以降の開園に向けて進めている。 荒井幼稚園・保育園は、こども園化に向けてさらに検討を進め、2018年度までに方針を示す。 各こども園は、公立園を必要最小限とし、長期で半数を民間に移管する。 荒井幼稚園・荒井保育園、各こども園（曾根、米田は見込）の面積は、合計面積の半分の面積としている。
	荒井幼稚園 荒井保育園	こども園の検討	維持		
	伊保幼稚園 梅井保育園	こども園（建て替え）	維持		
	曾根幼稚園 曾根保育園	こども園	維持		
	米田幼稚園 米田保育園	こども園	維持		
	(旧) 子育て支援センター	廃止	—	—	・2013年2月に、解体後土地を売却する方向性を示している。
	北部子育て支援センター	維持	維持	廃止	・建築年数により廃止とする。新たなセンターの建設を検討する。
	高砂児童学園	維持	維持	民間移管	・建て替えが必要であり、民間移管に向けて検討する。
産業系施設	雇用支援センター	維持	維持	廃止	<ul style="list-style-type: none"> 雇用・労働施策を総合的に実施するため、雇用支援センターの機能（シルバー人材センター事務所、各種講座など）と勤労者総合福祉センターの複合化を、シルバー人材センターと協議する。 複合化後の雇用支援センターは、売却も含め、跡地の利活用を検討する。
	勤労者総合福祉センター	維持	維持	複合化	
文化保健・福祉施設	文化会館	維持	建て替え（減築）	維持	<ul style="list-style-type: none"> 文化会館はPPP手法も検討しながら、延床面積の数値目標の30%を縮減し建て替える。 文化保健センターは、文化会館の動向を見ながら、存続するなら複合施設とする。建て替え時に中ホールは廃止し、保健センター機能をどうするか検討する。
	文化保健センター	維持	複合化	—	
	ユーアイ福祉交流センター	維持	維持	維持	・施設は維持する。
	みのり会館	維持	維持	廃止（複合化）	・現在の施設で行っている機能は維持できるよう、方策を検討する。
	中筋老人憩いの家	維持	譲渡	—	・集会所と同様、地域への譲渡を進める。移管できない場合は、安全性を見ながら廃止する。
処理施設	広域ごみ処理施設	建て替え	維持	維持	・ごみ処理施設は廃止し、本市に2市2町の広域ごみ処理施設を建設する。
	鹿島排水機場	廃止	—	—	・新たな排水機場はインフラ資産として整理する。
病院施設	市民病院	維持	維持	建て替え（減築）	<ul style="list-style-type: none"> 病院の耐用年数を鑑み、建て替えを検討する。建て替える場合、公舎のあり方も併せて検討を進める。
	蓮池医師公舎	維持	維持	維持（民間移管）	
	紙町医師・看護師公舎	維持	維持	維持（民間移管）	

個別施設の考え方（平成30年3月現在行政案 主な施設抜粋）

・短期（～2021年）・中期（～2026年）・長期（～2036年）の各期の間で個別施設の方向性を示している。

類型	施設名称	短期	中期	長期	施設の方向性
集会所	市所有の地区集会所	譲渡	譲渡	譲渡	・他の自治会の集会所などの公平性を担保し、地域コミュニティ活動の低下を招かないよう、各自治会への譲渡を多様な手段で速やかに進める。
公民館・コミュニティセンター	高砂地区コミュニティセンター	維持	維持	譲渡（維持）	<ul style="list-style-type: none"> 高砂地区コミュニティセンターは、地域への移管を進める。移管しない場合は、高砂地区コミュニティセンターの基金の状況を踏まえながら、高砂公民館を高砂地区コミュニティセンターに移転し、公民館機能を有するコミュニティセンター（地域交流センター）とする。 移転後の高砂公民館は利活用を検討し、有効な利用がない場合は売却する。 両方の施設の維持は行わない。 公民館をコミュニティセンター（地域交流センター）に移行し、その機能（公民館活動を行う場）は維持する。 中央公民館機能の組織は、伊保公民館の移行に併せて検討する。 曾根公民館は、教育センター跡地に地域交流センターとして建て替える。
	高砂公民館	維持	維持	維持（廃止）	
	曾根公民館	建て替え	維持	維持	
	中央公民館兼伊保公民館	維持	維持	維持	
向島周辺施設	青年の家	維持	維持	民間活用（廃止）	<ul style="list-style-type: none"> 青年の家の次期指定管理期間（2022～2026）は、向島多目的球場や向島公園との一体的施設として継続するが、その後は広域での利用やPPP手法を考慮しながら、廃止または民間活用を進める。
	向島多目的球場	維持	維持	維持	
	向島公園管理事務所	維持	維持	維持	
スポーツ施設	総合体育館	維持	維持	維持	・大規模改修を行い、維持していく。
	生石体育センター	維持	廃止	—	・次期指定管理期間（2019～2023）をもって廃止する。
	市民プール	維持	維持	民間活用（廃止）	・当面維持していくが、コスト面を踏まえ、PPP手法の検討を進め、コスト面で効果が出ない場合は廃止も含めて検討する。
	野球場	維持	維持	維持	・大規模改修を行い、維持していく。PPP手法の検討を進める。
学校	陸上競技場	維持	維持	建物部分撤去	・必要な時期にスタンドを撤去し、多目的施設としての活用を進める。
	高砂小学校	維持	維持	建て替え（減築）	<ul style="list-style-type: none"> 建て替え時に小中一体の校舎として検討し、延床面積の各30%縮減を図る。
	高砂中学校	維持	維持		
	荒井・伊保・伊保南・中筋・曾根・米田・米田西・阿弥陀・北浜小学校	維持	維持	維持（減築）	<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化可能な施設（棟）を把握する。 人口の動向を勘案しながら、将来に向けた統廃合や校区の見直しの検討を進め、余裕教室を学童保育所などに活用する。
	荒井・竜山・松陽・宝殿・鹿島中学校	維持	維持	維持（減築）	<ul style="list-style-type: none"> 建て替え時は、建て替え全体の面積を見込んだ上で、棟ごとに実施する。
給食センター	新築	維持	維持	・施設は維持する。	
市営住宅	伊保崎南住宅	維持	維持	維持	<ul style="list-style-type: none"> マスタープランに基づき、計画的な建て替え・縮小・廃止を行っていく。 木造住宅は原則廃止を進めるが、住生活基本計画策定に合わせ、北山住宅は建て替えの必要性を検討する。 鉄筋住宅は指定管理者制度の導入を検討する。
	松波住宅	維持	維持	維持	
	中筋住宅	建て替え	維持	維持	
	木造市営住宅	縮小	縮小	廃止	